



特集：新型コロナウイルス感染とつきあう！

「看護師職能Ⅱ通信」第2弾です！看護師職能Ⅱ委員会は、去る10月31日に開催された「看護師職能交流集会」において、「新型コロナウイルス」に関するそれぞれの現場からの意見をたくさんいただきました。皆様の奮闘されている現場に少しでも参考になればと思い、ご紹介いたします。また、各現場で回覧いただき、ご意見・ご感想等ありましたらお知らせください。

施設（特養・老健）

〈課題〉

- ・陽性者が出た場合、発症者は入院対象になるが、施設で問題になるのは発症者に対する濃厚接触者に対する対応。
- ・勤務する職種が多職種で、介護福祉士、理学療法士、事務員、用務員など看護職以外の職種に知識や意識の統一を図る事が難しかった。
- ・物品不足
- 〈自分たちができること（看護師としての対応）〉
- ・具体的な対応としてマニュアルを作成し、情報を随時追加しながら変化に応じて改定を加え続けている。
- ・手洗い方法を繰り返しチェックしたり、具体的な対応場面についてイメージトレーニングを繰り返した。

診療所

〈課題〉

- ・発熱患者来院時の対応
- ・コロナによる発熱なのかそれ以外（例えば、乳腺炎などによる発熱なのかの区別困難）
- ・心不全患者は呼吸症状（+）が多いためコロナとの鑑別が困難
- ・顔なじみの患者は、そのまま何もせずに入ってしまうことがある。
- ・かかりつけ医というが受診歴のない患者が突然来るので対応が難しい。
- 〈自分たちができること（看護師としての対応）〉
- ・受付事務に知識や情報共有をするようにした。
- ・発熱外来の時間が決まっているが、電話対応時に判断し医師に報告相談。
- ・来院時に玄関でトリアージ（症状等を確認し判断）→症状のある患者は、別室に入るように誘導。
- ・発熱者・症状患者来院時、PPEの徹底。
- ・濃厚接触者にならないようにする。

訪問看護

〈課題〉

- ・物資不足
- ・利用者が感染のリスクがあるかもしれない気持ちで訪問しないといけない。
- （感染リスクが高い）
- 〈自分たちができること（看護師としての対応）〉
- ・訪問前にご家族から発熱あれば連絡をいただく。
- ・感染対策を徹底し、玄関先で予防衣の着脱の徹底とごみの処理をする。
- ・「もちこまない・もちださない」の徹底

デイサービス

〈課題〉

- ・利用者がデイの利用を自粛されると経営の存続の危機となる可能性あり。
- ・外部接触が多い利用者の感染のリスクが高くなるので受け入れ側に不安生じる。
- 〈自分たちができること（看護師としての対応）〉
- ・利用される前にご家族から発熱あれば連絡をいただく。
- ・発熱者などの利用は中止していただく文書などの事前説明を十分に行う必要がある。

さいごに…

「新型コロナウイルス感染」の終息はまだまだ見えてきませんが、「もしも自分が」あるいは「身近な人が」陽性になったり、濃厚接触者になったりした場合、自分の家族をまきこんだりまわりから差別的な態度をとられたり…といったメンタル面での辛さも背負うことになってしまうかも…。実際、たくさんの感染のリスクを抱えながら看護の仕事をするのは大変なことでもありますが、同じ立場の仲間と互いに声掛けあって支え合って乗り越えていきましょう！きっと明るい時代がやってくることを信じて！利用者を支えないといけない看護師が仕事を続けていけるようにはメンタル面でのフォローが必要です。



ご意見などお聞かせください！
公益社団法人滋賀県看護協会

TEL:077-564-6468 FAX:077-562-8998